

CV-22 オスプレイの横田飛行場への配備について

平成30年10月1日に5機のCV-22 オスプレイが正式に配備されることが決定されました。

私どもとしましては、安全保障の重要性は認識しており、併せて沖縄県の負担軽減を実現させていかなければならないことも承知しているところです。

しかしながら、オスプレイについては、国内においてもMV-22の不時着水事故をはじめ、緊急着陸や部品落下事故、また、横田飛行場に配備されるCV-22が奄美空港に緊急着陸するなど、様々な事故等が相次いで発生しており、オスプレイの安全性に対する市民の懸念は未だ払拭されていません。

については、横田飛行場の滑走路の延長線上にあたる自治体として、下記の事項について強く要望いたします。

記

- 1 オスプレイの安全性については、未だ不安を感じている市民もいることから、市民の懸念が払拭されるよう、国の責任においてオスプレイの安全性について十分な説明責任を果たすこと。
- 2 横田飛行場に配備されるCV-22 オスプレイの飛行経路や訓練内容など、運用に関する具体的な内容について米側から情報提供を受け、事前に地元自治体及び市民に対し詳細かつ丁寧な説明を行うこと。
- 3 安全確保の徹底はもとより、飛行時間帯や飛行高度などについて日米合同委員会合意事項を遵守するよう米側に申し入れ、騒音など生活環境への配慮を行うこと。

平成30年9月28日

防衛省北関東防衛局長
吉田 廣太郎 様

飯能市長 大久保



入間市長 田中 龍夫



日高市長 谷ヶ崎 照雄

